PHP の脆弱性（PHP2Shell）への安全対策および関連対応に伴い、
以下の 2 点についてご連絡申し上げます。

1. 「DICOMViewer」機能の一時停止
2. ID-Link ホームページの閲覧一時停止（プロバイダ対応のため）

1. 「DICOMViewer」機能の一時停止について
本脆弱性を利用した攻撃を行うためには、「TLS クライアント証明書認証」および
「ID-Link へのログイン認証」の 2 つを満たす必要があります。そのため条件を
満たさない環境では直接的な影響はございませんが、セキュリティ万全を期すため、
修正アップデートが完了するまでの間、順次 DICOMViewer 機能を使用できない
状態とさせていただきます。

■対象機能
DICOMViewer 機能

■対応内容
修正アップデート完了までの機能一時停止（順次対応を実施中）

■影響範囲
DICOMViewer の閲覧・操作
※ DICOMViewer を開いた際に「No Image」と表示されます
※ DICOMViewer 以外の ID-Link 基本機能（データ閲覧・取得・登録等）は
引き続き通常通りご利用いただけます。

2. ID-Link ホームページの閲覧一時停止について
本件に伴い、プロバイダ側にて安全対策の対応が行われている影響で、
一時的に ID-Link のホームページが開けない状態となっております。
こちらはホームページの表示に関するものであり、ID-Link システム本体の
動作およびサービス提供には影響ございません。

ご利用の皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけいたしますが、
安全なサービス提供のため、何卒ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。
なお、アップデート完了および機能再開の目処につきましては、目処が立ち次第
改めてご案内いたします。